

給付型奨学金制度による支援広がる

経済的理由で進学を諦めたり、学費を賄うために借りた奨学金を返済できない若者が増え社会問題になっているなか、遊技業界では有志が中心となり返済義務のない教育支援金制度を設立したり、各都府県方面組合などでも独自の支援を行っています。

pp奨学金(パチンコ・パチスロ奨学金)

ホールに「募金募玉箱」を置き、遊技客から寄付された玉・メダルを賛同企業が金銭に換算し、これを基本財源に学生を支援する返済義務のない給付型奨学金制度。準備委員会に遊技場経営企業数社が参加し、東京都遊技業協同組合が200万円、神奈川県遊技場協同組合が100万円を趣旨に賛同し助成。

選考の基準は18歳以上で、(1) 経済的な理由で就学が困難(2) 成績優秀(3) 研究の内容に独自の視点があり、未来の夢やビジョンを語るができること。

初年度は奨学生は18~46歳の男女各4人で、一人あたり月額3万円または5万円を12ヵ月分支給し、次年度からは5万円から10万円を予定、長く若者の進学・就労を支援してきた社会福祉法人「さぽうと21」を通じて支給。



ホールに設置された端玉募金箱

大阪府遊技業協同組合

平成3年にパチンコ・パチスロ業界で全国初の国際交流団体として財団法人大遊協国際交流・援助・研究協会を設立し、現在まで、基金10億円の出捐と組合の会費及び寄付金により在阪外国人留学生及び在阪外国人に対する支援事業を展開。また、平成24年には、大阪府から公益財団法人の認定を受けた。

奨学金支給事業は、当財団のメイン事業で、平成29年度までに38大学、27ヵ国・地域の留学生372名に奨学金(月額、学部生5万円、院生7万円)を支給。



大遊協奨学金受給証書交付式

三重県遊技業協同組合

不登校の子どもの居場所・学びの場である県内初のフリースクール「三重シュール」に対し、長年活動支援を行っているが、経済的理由で入会できない家庭が増えているため、全国初のフリースクール対象の全額給付型奨学金制度「金のハートの奨学金」を設立。小中学生を対象に入会金や月会費を2年間支援。

女や両親が外国人などの外国につながる若者に対し、保育士として地域社会で活躍できるよう人材育成を行うことを目的として資金面(学費)を援助。毎年3名の奨学生を選抜し、月額5万円(年額60万円)の返還義務のない奨学金を卒業まで支給。

神奈川県遊技場協同組合

将来保育士になることを目指しながら、経済的理由から進学を諦めていた外国に住んでいた経験がある帰国子

栃木県遊技業協同組合

経済的に支援の必要な中学生が、県内の高校に進学するのを奨学援助する制度「下野奨学金」に対し、30万円を寄付。寄付は11度目となり累計は318万円になる。